

教育目標： よく考える子

思いやりのある子（重点目標）

体をきたえる子

<http://hachioji-school.ed.jp/swas/index.php?id=yky2e>

横山第二小学校のホームページに

「地域運営学校」のページを掲載しています。



横山第二小学校

地域運営学校だより

令和7年7月29日

八王子市立横山第二小学校

校長 小林 錠

第4回 学校運営協議会（横山中学校グループ小中合同開催） 報告

第4回の学校運営協議会（小中合同開催）の内容について、ご報告いたします。

日 時 令和7年7月23日（水） 13時00分より14時00分

場 所 横山中学校 武道場 司 会 横山中学校副校長

1 横山中学校学校運営協議会会長挨拶

暑い中、多くの委員の皆さんにご参加いただき、有り難い。今日の講演を生かして、さらに小中一貫の連携の和を深めていきたい。

2 今後の小中一貫教育について（横山中学校校長）

横山中学校グループでは、「広い視野をもち、社会に役立つ人になろう」という重点目標を掲げ、義務教育9年間を通じたキャリア教育を展開していこうと考えている。その中で、横山地区が目指すキャリア教育としては、地域に根差した防災教育を町づくりに生かし、地域コミュニティの維持・発展に貢献する小中9年間の系統的な教育を行っていきたいと考える。その案段階として、中学校段階で身に付けさせたい資質・能力を明確にし、教科等に位置付けた。今後、小学校段階で身に付けさせたい資質・能力も検討していきたい。

3 自己紹介

各校の学校運営協議会委員が自己紹介を行いました。

4 講演 『地域防災について』 いなりもり保育園長、前並木町郵便局長、防災士：福嶋 浩之 様

- ・防災士とは、普通救命救急士と同様の試験を受けて名乗ることができるが、消防団との大きな違いは、消防団は実務的な部分を担う団体であるのに対し、防災士はその前段階の減災活動をおこなうものである。
- ・2011年東日本大震災後に現地に赴き、泥さらいなどの活動に協力し、東京に戻ってきた際に風評に悩まされたこともあった。ガイガーカウンターの数値などを根拠に安全であることを示すことで理解を得た。
- ・2024年の能登半島地震の支援活動に訪れた際に、その地域の方の中に日頃から備蓄を行っている方がおり、備蓄の大切さを感じた。特に水の重要性が多方面で感じられた。
- ・災害時に優先すべきは「自助」。他人を助ける側になるには、自分が助かっていないとできない。まずは、自身の身の安全を確保すること。次に「共助」。「公助」は3日程度時間が掛かる。72時間は、自分たちで何とかできるように備えておくことが大切。
- ・災害時に携帯電話は、電波塔が倒れてしまうと繋がらない。LINEのような短い時間で送れるものの方が使える。繋がりがやすい連絡手段としては、有線電話（公衆電話）。
- ・地域のどこに公衆電話があるか把握しておくことが大切。横二小周辺だと、旧横山事務所や並木町東横断歩道の南側などがある。
- ・様々な災害時に安全な場所としては、ガソリンスタンド。災害時のことを考えた構造になっている。近場だと横山中横にある。
- ・「171」の練習など、防災フェスタをきっかけにさらに安全に関心をもってもらいたい。

5 質疑応答

- ・中学生でも防災士の試験を受けたり、受かったりすることができるのか。
→ できる。多少、専門的な部分もあるが、勉強すれば防災士になるのは難しいことではない。

第5回 学校運営協議会 9月10日（水）11時20分～12時05分 家庭科室にて

※10時30分～11時15分までは、授業参観を行います。※学校公開日